

取扱説明書

スキャナ用エレベーター三脚

13610000



三脚を正しくお使いいただくために、本取扱説明書をよくお読みになり、本書を大切に保管してください。

警告

- ☐ 人を運ぶ目的で使用しないでください。
- ☐ 本説明書で示された仕様は設計仕様です。安全や周辺環境に合わせたご使用をお願いします。
- ☐ 測量機を取り付ける前に、三脚が安定して設置されていることを確認してください。
- ☐ 三脚を調整する前に、必ず機器を取り外してください。
- ☐ 三脚を運搬する前に、すべての機器が取り外されていることを確認してください。
- ☐ 三脚は柔らかい布をわずかに湿らせて清掃してください。
可動部に付着したほこり、汚れ、湿気、砂を取り除いてください。

目次

1. 適用範囲
2. はじめに
3. 三脚の設置方法
4. 使用時の注意事項
5. 下降操作
6. 上昇操作
7. ポールの継ぎ足し方法（伸長）
8. 技術データ

1. 適用範囲

スキャナ用エレベーター三脚は、3次元レーザースキャナーなどの測量機を取り付けるための三脚として専用設計されています。測量機は、5/8インチのねじ、または別売のホルダーや接続ベースを使って三脚に取り付け可能です。ポールは、お手持ちの電動ドライバーまたはハンドルを回して、上昇、下降させることが可能です。必要な高さに応じてポールを継ぎ足して延伸することができるため、一人で設置、操作することが可能です。

2. はじめに

2.1 同梱品

1. 本体(石突保護ラバー付き、1mポール1本を含む)
2. 継ぎ足しポール 1m × 4本
3. 基本プレート
4. 基本プレート用アダプター
5. 5/8インチアダプター
6. ハンドル
7. ビットホルダー
8. T字レンチ
9. 付属品・継ぎ足しポール用バッグ
10. 取扱説明書

2.2 各部名称



2.3 付属品の名称

基本プレート用アダプター

5/8インチアダプター



接続用ダブルピン



5/8インチネジ

固定ネジ



3. 三脚の設置方法

作業する地面の状況に応じて、石突保護ラバーを外して設置してください

- ① 脚部の固定ストラップを緩める。
- ② 三脚の3箇所の脚部伸縮固定クランプを緩める。
- ③ 三脚の脚を目的の高さまで伸ばす。
- ④ 脚部伸縮固定クランプをロックする。
- ⑤ 中央開き止め固定ネジを緩める。
- ⑥ 三脚の脚を任意の開き角度に調整する。
- ⑦ 地面にしっかりと設置されていることを確認し、必要に応じて石突を踏み込む。
- ⑧ 水平器の気泡を中央に合わせ、三脚を水平にする。
- ⑨ 開き止め固定ネジを締める。
- ⑩ 上部固定ネジと下部固定ネジを緩める

4. 使用上の注意

本三脚は、上方向に最大6m、下方向に最大4mまで伸長できるエレベーター三脚です。ただし、最大伸長での使用は推奨されません。最大まで伸ばした場合、風や振動の影響でポールが揺れることがありますので、使用環境に応じてご判断ください。

また、本三脚は設計上、最大20kgまでの機械を搭載できるようになっていますが、これはあくまで設計上の仕様であり、使用による安全や機械の安定性を保証するものではありません。設置条件や使用環境に十分注意のうえ、安全にご使用ください。
なお、使用中に発生した事故や機械の破損、計測不良などについて、当社は一切責任を負いません。

重い機器を使用する場合

- ☐ 特に上方向へ作業する場合、重い機器の使用によりポールがわずかに動くことがあります。
その場合は、ポールの伸長を下げてください。

ギアボックスの駆動に電動ドライバーを使用する場合

電動ドライバーを使用する際は、ハンドルを取り、ビットホルダーを取り付けてご使用ください。

- ☐ ギアボックスは電動ドライバーで駆動することができます。
- ☐ ギアを動かす前に、必ず上部固定ネジと下部固定ネジを緩めてください。
- ☐ ギアを動かしていないときは、必ず上部固定ネジと下部固定ネジを閉めてください。
- ☐ 最大出力18Vまでのコードレスドライバーのみ使用してください。
- ☐ 回転速度は最大350回転／分(min⁻¹)に設定してください。



5. 下降操作

重要:

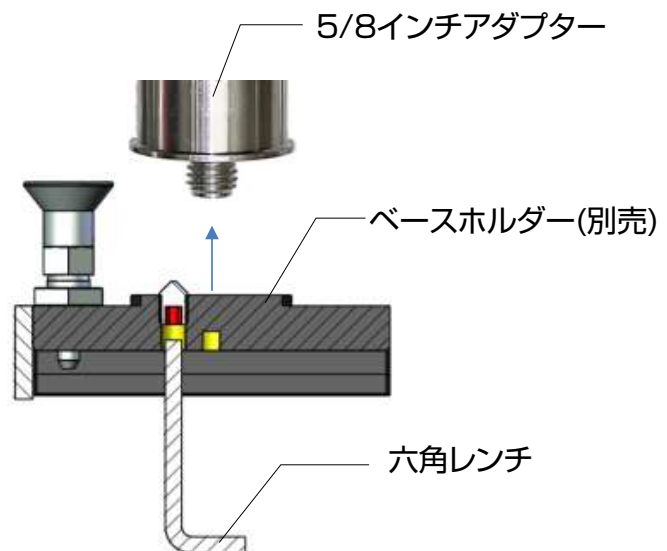
ポール連結ネジは、ポールガイドに干渉する位置まで飛び出させてください。
 これにより、ポールが過度に下降するのを防ぎ、誤って落下することを防止する効果が期待できます。



ポール連結ネジは、脱落防止のため、ネジを緩めることで飛び出させてください。
 次のポールを継ぎ足すときに閉めてください。

注意:

下方向に操作する場合、測量機は必ず別売のベースホルダーと専用ベースを使用して取り付けてください。誤って測量機を落下させる恐れを軽減します。



固定用ネジ(イモネジ)を六角レンチでねじ込んでください。

- ① スキャナーを専用ベースに固定します。
- ② 機器を取り付けたベースをベースホルダーに入れ込み、ロックネジで固定します。
 ※奥までしっかりと入れ込んでください。
- ③ ハンドルを用いて、ポールを所定の深さまで下げます。
 警告: ポールは、ポール連結ネジが確認でき、ポールガイドに隠れない位置までしか下げないでください。
- ④ より深い位置まで下げる必要がある場合は、ポールを継ぎ足してください。
- ⑤ 上部と下部の固定ネジを締めます。
- ⑥ 測定を開始してください。

下降には電動ドライバーを用いることでも下降させることができます。スピードに注意をしてご使用ください。



6. 上昇操作

納品時は、三脚上部に基本ベースを取り付ける仕様になっております。ベースホルダーおよびベースを使用の際はあらかじめ取り付けられたポールを抜き取り、さかさまにして再度取り付けてください。

基本ベースを使用する場合 ※QRコードを読み取ることで、動画でもご確認いただけます。

- ① 風が無いことを確認し、三脚を設置します。(p.4参照)
 注意: 三脚は、ポールを下から継ぎ足し接続できるように、少なくとも1.1mの空間が確保できるように脚の長さや間隔を調整してください。
- ② 基本プレート用アダプターを上部のダブルピン(メス)に取り付けます。
- ③ ポール側にあるポール連結ネジを締めこみ基本プレート用アダプターを固定してください。
- ④ 基本プレートをアダプターに取り付け、基本プレートの固定ネジを締めます。
- ⑤ 測量機を固定します。
- ⑥ ハンドルを使ってポールを上方向に回し、任意の高さに達するまで上げてください。
 注意: ポールがポールガイド(下方向)から見える位置までしか上げないでください。
 上げ過ぎるとポールが脱落する恐れがあります。
- ⑦ より高い位置まで上げたい場合は、ポールを連結させてください。(p.7参照)
- ⑧ 上部と下部の固定ネジを締めます。
- ⑨ 計測を開始できます。

別売のベースホルダーとベースを使用する場合 ※QRコードを読み取ることで、動画でもご確認いただけます。

- ① 風が無いことを確認し、三脚を設置します。(p.4参照)
 注意: 三脚は、ポールを下から継ぎ足し接続できるように、少なくとも1.1mの空間が確保できるように脚の長さや間隔を調整してください。
- ② ポール上部がダブルピン(メス)の場合、一度ポールを抜き取り、さかさまにして再度取り付けます。
 注意: ポールを抜き取った際、内部のポール固定用押さえこみパーツが脱落恐れがあります。
 注意して抜き取ってください。
- ③ 5/8インチアダプターを上部のダブルピン(オス)に取り付けます。
- ④ アダプター側にある固定ネジを締めこみアダプターを固定してください。
- ⑤ ベースホルダーを5/8インチアダプターに取り付け、イモネジでしっかりと固定します。(p.5参照)
- ⑥ 測量機にベースを取り付けます。
- ⑦ 機器を取り付けたベースをベースホルダーに入れ込み、ロックネジで固定します。
 ※奥までしっかりと入れ込んでください。
- ⑧ ハンドルを使ってポールを上方向に回し、任意の高さに達するまで上げます。
 注意: ポールがポールガイド(下方向)から見える位置までしか上げないでください。
 上げ過ぎるとポールが脱落する恐れがあります
- ⑨ より高い位置まで上げたい場合は、ポールを連結させてください。(p.7参照)
- ⑩ 上部と下部の固定ネジを締めます。
- ⑪ 計測を開始できます。

使用途中で風が出てきた場合は、直ちに使用を中止してください。

7. ポールの継ぎ足し方法（伸長）

- ① 三脚を設置します。（p.4参照）
- ② ダブルピン(メス)に継ぎ足しポールのダブルピン(オス)を接続します。
- ③ ダブルピン(メス)側のポールにある固定ネジをしっかりと締めこみます。



8. 技術データ

最大下降幅 (脚頭より)	4.9m
最大上昇幅 (地面より)	6.3m
縮小時サイズ	130cm
重さ	8.5kg
ポール長さ(1本)	1m
素材	アルミ

注意：本製品の設計、図面、仕様は予告なく変更されることがあります。
本取扱説明書の記載内容の誤りにより生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。

免責事項

本書に記載された情報は、予告なく変更される場合があります。
製造メーカーであるGottlieb Nestle GmbH(ドイツ)および輸入代理店である株式会社マイゾックス(日本)は、本資料に関して、契約上または法的にいかなる保証も行いません。
ここに明記されている場合を除き、市場性、商品性、特定目的への適合性、特許侵害の有無などに関する保証も含め、一切の保証はありません。

また、本資料の使用に起因して発生した直接的、偶発的、結果的な損害、損失、費用についても一切の責任を負いません。